

被害防止計画目標評価報告書

事業実施主体名 (参画協議会名)	構成市町名	実施年度
函南町有害鳥獣被害防止対策協議会	函南町	令和元年度

1. 対象地域及び実施期間

対象地域	函南町
実施期間	平成28年度～平成30年度

2. 被害防止計画目標の達成状況

被害防止計画目標	基準年 (H26年度) の実績値 A	目標値 B	目標年 (H30年度) の実績値 C	達成率 A-C/A-B	備考
被害金額	2,440千円	1,707千円	2,948千円	△69%	
被害面積	1,731 a	1,211 a	72 a	319%	

3. 目標達成のために実施した各事業の内容と効果

事業内容	事業量	管理主体	供用 開始日	事業効果
緊急捕獲活動 支援事業	(H28) イノシシ成獣 127 頭 イノシシ幼獣 8 頭 ニホンジカ成獣 22 頭 カラス 8 羽	函南町有害鳥 獣被害防止対 策協議会		被害の主因であるイノシ シを中心に捕獲を強化し た結果、被害金額・面積 とも減少傾向で推移して いる。
	(H29) イノシシ成獣 222 頭 イノシシ幼獣 30 頭 ニホンジカ成獣 28 頭 ハクビシン 3 頭 カラス 13 羽 アナグマ 2 頭			
	(H28) イノシシ成獣 217 頭 イノシシ幼獣 26 頭 ニホンジカ成獣 25 頭 ハクビシン 4 頭			

事業内容	事業量	管理主体	供用 開始日	事業効果
	カラス 66 羽 アナグマ 6 頭			

4. 総合評価

被害面積は大幅に減少し目標値を達成できたものの、被害金額については、単価の高いサツマイモなどのいも類、トウモロコシなどの野菜類に被害が集中したことにより増大し、目標値の達成には至らなかった。

なお、被害額の多くを占めるイノシシの捕獲を推進した結果、1年目 4,476 千円、2年目 3,824 千円、最終年度は 2,948 千円と徐々に被害が減少しているため、引き続き捕獲圧を高めるとともに、鳥獣被害対策実施隊を設置して総合的な対策に取り組む方針である。

5. 第三者の意見

平成 28～30 年度のイノシシの捕獲頭数はそれ以前に比べて多く、積極的な捕獲が被害面積を軽減した要因の一つと思われる。今後、設置予定の鳥獣被害対策実施隊には、被害が発生した生産者だけでなく近隣の住民を合わせて指導することで、集落が一体となって被害対策に取り組む体制づくりをお願いしたい。

(静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター 上席研究員 水井陽介)